



FUKUI YEG EXPRESS



発行日/平成12年10月25日
発行所/福井商工会議所青年部
メディア委員会
福井市西木田2-8-1
TEL:0776(36)8111
FAX:0776(36)8588
発行者/吉岡 正修
編集者/慶松 裕司

vol. **95**



特集

第2回
YOSAKOIイッチョライ
第2回 ふくい市民会議

青年部ホームページアドレス
<http://www.fcci.or.jp/fyeg/>

目次

福井商工会議所青年部
会報「福居」95号
〜人がまじわる 青年部〜

3 第2回 YOSAKOI イッチョライ

福井の新しい真夏の祭典

8～7 第2回ふくい市民会議

9 福井YEG白書
ホームページ紹介

近畿ブロック大会参加

10 六月・七月・八月例会

11 夏のレクリエーション(キャンプ)
YOSAKOIイッチョライ広がる

12 新入会員紹介・会員情報
会員短信・西木田通信

第2回 YOSAKOI イッチョライ

～福井の新しい真夏の祭典～



中央会場大賞チーム：仁愛学園ダンス部



北会場大賞チーム：明新森組



YEG&イッチョライオドロッサチームも奮闘



南会場大賞チーム：キャンディ・ポップS.J.&越前いっちょらい隊

「第2回 YOSAKOI イッチョライ」は7月28・30日の両日、31チーム・1800人を集めて開催された。28日・フェニックス大会は、北・中央・南の三会場に分かれ、31チームが同時に進行、べんた大会は17チームが華麗な踊りを披露した。結果は下記の通り。

第2回 YOSAKOIイッチョライ 審査結果

●フェニックス大会(H12.7.28)

| | 北会場 | 中央会場 | 南会場 |
|-----------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| YOSAKOIイッチョライ大賞 | 明新森組 | 仁愛学園ダンス部 | キャンディ・ポップS.J.&越前いっちょらい隊 |
| 優秀賞 | 円山今昔娘ぶらすα 啓蒙小学校・啓蒙童子Jr. | 啓蒙小学校・啓蒙童子 新田塚スポーツクラブ・アーク | FESTA SHOW-KA2000&UNESKO なかふじ龍神組 |
| チームワーク賞 | ミナトJr. パフォーマンス | 宝永小学校・宝永トレジャーズ | フレンドリー・MEIRIN ロッキー&ピンキーズ |
| はなやか賞 | 武生おしかけ応援隊 | しゃんしゃん娘 | 社北Jr.ミックスドロップス |
| 熱演賞 | 踊る藤己会 | 踊る大捜査セーレン | YEG&イッチョライオドロッサ |
| ほのほの賞 | Mou吹雪 | きゃんでいぼつが真美しゅにあ | 和田八幡宮スターズ |
| きらめき賞 | アルソア ユウ | MILKY COMBAT | 陽菜CLUB wow! wow! wow! |
| なるこ賞 | 吉幸・清メキ ス克蘭ブラーズ | 行こっさ! やろっさ! ローターアクトFUKUI | JUNKAドリームファイアー |
| オリジナル賞 | 春山YOSA恋・乱舞連 | (株)柿本商会・福日機電(株) | YOUTH・DANCING・YOSAKOI |

※チームワーク賞～オリジナル賞については審査得点の優劣により決定したものではありません。

●べんた大会(H12.7.30)

| | |
|--------------|--|
| ほんにイッチョライ大賞 | キャンディ・ポップS.J.&越前いっちょらい隊 |
| イッチョライメッセージ賞 | 明新森組 |
| イッチョライいい顔賞 | フレンドリー・MEIRIN |
| 国際イッチョライ賞 | 新田塚スポーツクラブ・アーク、しゃんしゃん娘、春山YOSA恋・乱舞連、啓蒙小学校・啓蒙童子、啓蒙小学校・啓蒙童子Jr.、Mou吹雪、FESTA SHOW-KA2000&UNESKO、円山今昔娘ぶらすα、JUNKAドリームファイアー、踊る大捜査セーレン、陽菜CLUB wow! wow! wow!、ミナトJr.パフォーマンス、YEG&イッチョライオドロッサ、行こっさ! やろっさ! ローターアクトFUKUI |

自分が変わる 世界が変わる

1989 FUKUJI 2010

おやじが 茶髪にしたって いいじゃないか

MARIE-JOSE

美容室 マリージョゼ

～恋と情熱とマリージョゼ～

メンズサロンヴォーグ店 福井市二の宮3-2-34
TEL (0776) 23-0250
URL <http://www.marie-jose.co.jp>

福井放送株式会社

かわりの 目の な 知的情報 を 発信します。

FBC

〒918-8677 福井市板垣5-105 TEL 0776 (34) 2800代 FAX 0776 (34) 4700
支社 東京 大阪 金沢 名古屋 敦賀

初心者向けパソコン教室

講座内容 **おすすめ**

- ・パソコンをはじめよう
- ・はじめてのインターネット
- ・ホームページ作成入門
- ・Word入門・初級
- ・Excel入門・初級

※個人授業・その他各種講座も受付中

講座内容・時間割はホームページ
<http://house.pure-system.co.jp>まで

おもしろPCハウス **ピカ**

福井市米松2丁目24-33
TEL. 57-1184 FAX. 57-1026
ピュアシステム(株) 吉野 弘美

100年を越えて、未来のかけ橋に。

木原建設株式会社
KIHARA CORPORATION SINCE 1899

代表取締役社長 木原一雄 代表取締役専務 木原一治

福井営業所 〒910-0028 福井市学園1丁目2-18
TEL 0776-29-0500(代) FAX 0776-29-0555
E-mail: tkihara@ilac.ocn.ne.jp
URL <http://www.kihara-kensetsu.co.jp/>

住まいこそ、人生のオリジナル。

木原ホーム 木原建設株式会社 住宅事業本部
福井市大町7番2号地 TEL.0778-23-2000(代)

創業70年の技術と信用は プロフェッショナルの仕事です。

トータル インテリア **トチヤ**

TEL. 0776-54-4500

カーテン、ジュートンクロス、ブラインド 照明器具、別注家具 店舗住宅、設計施工

とちや株式会社
本社/福井市西開1-2201 FAX. 0776-52-6260

大型・小型 自動車部品、中古部品 整備用機械、工具販売

岡山部品株式会社

福井市文京1-44-17
TEL 0776-21-1470 FAX 0776-21-2998

大きな感動を再び…



第47回 福井フェニックスまつりにおいて、7月28日(フェニックス大会)・30日(べんた大会)両日にわたり、第2回「YOSAKOI イッチョライ大会」が行われました。今年に参加チーム数31、参加人数1800名と昨年の第1回大会と比べて、約4倍近い規模に拡大しました。急成長したその原動力は、何と…

も昨年出場したチームの素晴らしい演舞ではなかったかと思ひます。あのとびつきの笑顔で、心から楽しんでいる姿を見て参加を決めたチームは少なくはないと思ひます。主催する私達青年部としては、参加する人達、それを観る人々に今年も、ワクワク・ドキドキ、感動と興奮を感じてもらいたく企画を練り上げていきました。さらに今年に参加者を交えた「実行委員会」を立ち上げ、福井の独自性が生まれるよう、もつと祭りを身近に感じてもらえるような取り組みをしました。

そうして迎えたまつり当日、28日(金)午後8時20分、夜の帳が落ちたフェニックス通りに勇壮な太鼓の音が響き渡り、「YOSAKOI イッチョライ」の始まりが告げられました。今年では会場のフェニックス通りを北・中央・南の三会場に分け、同時開催されました。フェニックス

これまで、青年部はフェニックスまつりにおいて、「手作りおみこし大会」や「サンバ大会」に携わってきたが、更に親しみやすく「福井らしい」伝統的な市民参加型のまつりを模索していく中で、札幌の「よさこいソーランまつり」に出会った。この札幌の「よさこいソーランまつり」は、今や「雪まつり」を越える日本でもっとも活気のある祭りに成長した。また、「よさこいソーラン踊り」とは、民謡を現代風にアレンジしたもので、子供からお年寄りまで幅広く踊れる楽しい踊りであった。

青年部は、この感動と、興奮を福井市民にアピールするため、福井県の伝統的な民謡である「イッチョライ節」を、何とか福井の若い世代の人々に普及させたいという狙いも込めてビートのきいた現代風にアレンジして、「YOSAKOI イッチョライ青年部バージョン(イッチョライ99)」を作った。

青年部は、この曲とYOSAKOI イッチョライの踊りのベースを創作し、それぞれのチームの独創的なアレンジのもと、フェニックスまつり本番では、各チームとも夏の暑さを吹き飛ばすような力強いパフォーマンスを繰り広げ、沿道の観客の大歓声を得ることが出来た。



1999年夏、「YOSAKOI イッチョライ」は立ち上がった。もし、時の会長が「今年は今より、来年に…」と決意していたら、どうなっていたのであろうか。

通りを埋め尽くす人、人、人…。その中で31チーム、1800名はみんな「自分が主役だ!」という顔でこの日のために練習を重ねた「舞い」を披露。これまでの苦労が報われる瞬間。そしてそれを応援する観客。その応援を受けてさらに「燃える」踊り手。互いに共鳴し鼓舞し合いながら創られていく祭り。そんな祭りに出会えたことを感謝したい思ひでした。

また、30日(日)は会場を駅前に移し、17チーム、1100名が参加。再びあの「熱い舞い」を披露し、観客と共に感動と興奮のひとときを味わいました。大会終了後、会場では参加者全員がお互いの演舞をたたえ、抱き合ったり涙を流したりと、いつまでもその場を去りたい気持ちでいたようです。

思ひ思ひの衣装に身を包んだ参加者達が会場を後にする姿を見送りながら、私達はこの祭りを通して出会えた人達に感謝すると同時に、彼らと共に駆けつけたこの「季節」を誇りに思ひ、また来年ここで会おうと誓ったのでした。

文化創生委員会 前田 弘

「YOSAKOI イッチョライ」立ち上げ時の会長秘話

平成11年7月30日21時10分：やったー大成功！ 青年部全員が抱き合って感動を享受した。また、あの暑い季節がやって来た。

福井商工会議所青年部は、平成11年7月30日、第46回福井フェニックスまつりで第1回「踊れ！ YOSAKOI イッチョライ」大会を開催し、参加団体8チーム、約600人の参加を得て、大成功のうちに終わることが

か。森永直前会長に本音を聞いた。

Q. 森永さんが会長として、YOSAKOI イッチョライをやるつもりと思った時期は？

私は講演(99年2月)を聞いた段階で、今年はこのをやってみようと思ひました。

Q. 実現確率？パーセントと思われたのでしょうか？

100%出来ると思っていました。過去に青年部が決断したこと、出来なかったことはありません。青年部の発想から行くと、まず、7月30日に実行するためにはどうするか。そこから遡って、タイムスケジュールを決めていきました。けっこう大変でしたが(笑)。

Q. 踊ってみて、一言。

見ているよりも、やはり踊らないと楽しさは分からないと実感しました。只、家庭でビデオを見ての練習では、家内に相当手直しされましたが…。

Q. 第1回が終了したとき、いかがでした？

感動の一言。「やったー大成功！」前田委員長と思わず抱き合って感動を享受しました。

Q. YOSAKOI イッチョライの今後は？

今年9月に、福井市小学校連合体育大会で6年生全員(2744人)がYOSAKOI イッチョライを踊ったように、着実に裾野は広がっています。(記事11ページ)当面クリアしなければならぬ課題は沢山ありますが、YEGスピリットで挑戦しましょう！ ガンバレ！ 福井商工会議所青年部

出来た。

そもそも、きっかけとなったのは、以下の出会いがあったからである。「YOSAKOI イッチョライ物語(出田吏市著)」によると、「この物語は、平成11年2月17日青年部7名が郡司貞則氏の講演を聞いた時から始まった。」で幕を開けるが、この7名とは、日頃フェニックスまつりを何とかしたいと憂う青年部の熱き戦士達(田中義乃・三村貞二・森永克彦・出田吏市・真木康至・慶松裕司・蓮花慶子の各氏)だった。この講演会で「よさこいソーランまつり」の存在を知り、講演とビデオと本で、よさこいソーランに感動し、なんとかこの踊りを福井で実現したいという青年部の熱い思ひのもとに、商工会議所・行政・マスコミなどに「YOSAKOI イッチョライ大会」を提案した。

各団体・小学校・企業などに呼びかけ、その存在を青年部で編集したビデオで告知し、青年部会員も自ら踊らなければその楽しさが分からないという合言葉のもとに、十数回の踊りの練習をし、各参加団体へもインスタラクターとして会員が指導にあたった。延べ費やした時間は、はかりしれない。7月某日午後11時、出田副会長から「今から拡大委員会をコスでやるので来て欲しい。」との電話で呼び出されたり、また、ある時は早朝5時にフェニックス通りの軌道敷内の線路の安全確認に行ったり、多忙な日々は続いた。

躍動感あふれる独創的な踊りと一体感のある舞が、観客に全身で感動と興奮を与えることが出来たのは、青年部全員の熱意と努力、そして参加者関係者の絶大な協力があったからである。



財団法人 古賀政男音楽文化振興財団 主管 今井勝氏来福

「フェニックスまつり・YOSAKOI イッチョライ」で使用している「イッチョライ節」は、作詞・西沢爽、作曲・古賀政男によって、福井のご当地ソングとして1962年に作られた。古賀政男の著作権は、遺言によって財団が管理しており、「YOSAKOI イッチョライ」立ち上げの時には、著作権法に準拠して、まつりでの使用の許可を得ている。

今年、参加チームが31、踊り子1800人という規模で行われるにあたり、財団としても関心を寄せ、7月28日夜、主管・今井勝氏と学芸員・兵藤優子氏が視察に訪れた。翌29日、古岡会長以下青年部3名と、福井市、会議所、そして編曲を担当したUSコンソート2名が懇談した。今井勝氏は「YOSAKOI イッチョライ」の一番素晴らしいことは、福井に新しいハレの日ができたこと。それに古賀政男の曲がお役に立てたこと。ここでは音楽・踊り・衣裳という三者が一体となった21世紀の新しい形の文化の出発点と考えている。」

Q. 古賀政男音楽文化振興財団とは

「古賀政男を顕彰することがメインだが、古賀メロデー

ーに限らず、20世紀の日本の大衆音楽(歌謡曲から童謡まで)の伝統を守り、後世に伝えることを目的として作られた」

Q.「イッチョライ」について

「オリジナルを尊重して欲しいが、音楽も時代とともに変わっていくもの。時代にフィットした形で受け入れられることが望ましい。ただ、品格を損なう形で拡がっていくのだけは避けたい」

Q.今後の展開は

「いまのうちに、現在ある4パターンを固定化しておきたい。中でも「イッチョライ2000」をカラオケにしてはどうかと考えている。カラオケになれば福井発の情報発信にもなるだろうし、こうした音楽の核にもなり得る。ほかの団体等が「イッチョライ」を安易に変えて使用する場合は抑制策として機能する。21世紀の「イッチョライ」の原形はここにあると示すことができる」

Q.固定化した場合に、まつりでの使用についての問題は

「新しい4つのパターンに固定化しても、福井の皆さんがまつりでは自由に使えるよう配慮をする。それをまつり当日にフェイクすることは、まつり参加者の表現の自由と理解している。当然、各地の村おこしなどで活動での使用も可」

Q.その他

「福井は繊維の町。立派な衣裳を作って、さすが繊維の町・福井と全国にアピールするといのでは。それが成功



すれば福井の町に活気もでるだろう」

Q.最後に

「古賀政男の曲が、このようなリフレッシュされた形で取り上げられるのはうれしい限り。リフレッシュされた古賀メロディーのカラオケ化を推進し、より多くの人たちに親しまれるようにしていきたい。ゆくゆくは、高知、北海道、福井、更に東京も含めて日本四大YOSAKOIと呼ばれるように発展してほしい」

古賀政男音楽博物館

住所 東京都渋谷区 上原3-6-12

TEL 03-3460-9051

小田急線・千代田線、代々木上原駅より徒歩3分。上原した折りには、ぜひ一度訪れてください。

YOSAKOI イッチョライ 「参加者意見交換会・懇親会」

8月30日(水)第2回YOSAKOI イッチョライ大会の参加者が集まり、懇親会が開催されました。会場は終始和やかな雰囲気終了し、一つの節目として意義ある催しとなりました。

各参加チームのスタンスや考え方は異なりますが、各自に楽しかった事や辛かった事などの思いを胸に出席され、イッチョライに対する思いや熱気を改めて感じさせていただきました。各チームをまとめ上げた皆様、本当にご苦労様でした。

さて、何故イッチョライに参加して頂けるのでしょうか? 勿論楽しいからですが、何故楽しいのでしょうか? それは共に喜び苦しみ、そして感動を分かち合える仲間ができるからではないでしょうか。チームの仲間そして他チームとの交流が一つの和となって成立してお

第2回 ぶくい市民会議

まちなか活性化
~170人が討論~

- 日時** 平成12年7月1日(土) 午後1時30分~午後4時30分
- 会場** 福井商工会議所ビル 地下コンベンションホール
- 主催** 福井商工会議所青年部(YEG)、(社)福井青年会議所(JC)
- 後援** 福井商工会議所、福井経済同友会、(社)福井県建築士会、あすの商工福井を語る会

7月1日(土)、第2回ぶくい市民会議を開催いたしました。会場には第1回(昨年11月)を上回る約170名の市民の参加がありました。

今回は、前回の会議によって緊急かつ重要な課題とされた「まちなか」にテーマを絞り、ディベート、パネルディスカッション、テーブルディスカッション、緊急提言、ワーキンググループによる提案など、3時間に及ぶ活発な議論や具体的提案・提言が行われました。

ディベートでは「まちなかは郊外に優先すべきである」という論議で、主催2団体であるJCとYEGそれぞれが肯定派―否定派に分かれ白熱した討論が繰り広げられ、参加者の方々に中心市街地と郊外の発展の方向性について改めて認識を深めていただくことができました。このディベートを受けて、「あすの商工福井を語る会」の永井弘明氏をコーディネーターに、福井県立大教授の池上博



氏、まちづくり福井株式会社常務取締役の河端昌信氏、福井アーバンデザイン研究会会長の高木紀榮女史によるパネルディスカッションが行われ、まちなかの発展について、バランスの取れたより戦略性の高いプロジェクトの推進が必要であるとの認識を会場の参加者へ訴えました。

その後、第1回会議を受けて有識者により組織されたワーキンググループによる「まちなか居住」、「イタリヤの風」の具体的提案が出され、テーブルディスカッション

り、共に認め合い・交わり成長して行くのがイッチョライだと思います。

YOSAKOI イッチョライ

「ら」の福井らしさとは、この点にあります。「らしさ」とは、福井に住む人それぞれが持っているものであり、共に考え和することによって目に見える形となって、「らしさ」として福井独自の祭りとなっていくと思います。このことから今回の交流会は、意義深いものであり、今後市民実行委員会によって更なる発展が生まれるものと思われれます。

最後に、イッチョライは昨年今年の成功によって少し認知されました。フェニックス祭り実行委員会(福井市・観光協会・福井商工会議所)によって、来年の祭り全体を考えて頂いております。例年同じようなことを行ってきた中で、今市民の力(イッチョライ)によって街が変わろうとしています。何と素晴らしい事ではないでしょうか! 他人任せの祭りから自分達の祭りへの変化なのです。勿論、生みの苦しみがなければ来年の成功はないでしょう。しかし、やりがいのある苦しみである事は間違いありません。福井商工会議所青年部の皆様。今、我々が創ろうとしている祭文化は、芽を出した状態であり、これから水と光と栄養を与えないと成長しません。更なるYEGの情熱によって、花ではなく、大樹に育てようではありませんか。

人生楽ありや苦もあるさ...。涙のあとには虹もでる...。歩いて行くんだしっかりと...。自分(YEG)の道を踏みしめて...。

副会長 出田吏市

ンで検討、議論を行いました。

今回の市民会議の特徴は、ワーキンググループを組織しテーマを絞って検討がなされたこと、議論だけでなく、具体的提案まで行うに至ったこと、コンセンサスづくりにディベートという手法を用いたことなどがあげられます。反面、市民の議論する場が少なすぎた、具体的提案内容が良くわかりにくいなどのご批判もいただきました。

「市民が自己責任により創り上げるまちづくり」この深くて広いテーマに挑み、より大きな成果をあげるため、今秋に予定している3回目に向けて、市民の皆様をはじめ関係各位のさらなるご理解とご協力を切にお願いしたいと思います。

ネットコミュニケーション委員会 高原 裕一



市民の広場から市民会議そして…

福井YEGで一番長く続いている事業と言えば、「市民の広場」事業だろう。私の入会のきっかけも市民会議であった。昭和57年度の市民の広場は前年の56豪雪の教訓から「雪に強いまちづくり」であったように記憶している。内容よりもフォーラムからの帰り、天気の良い中、参加賞として貰ったスコップを担いで帰ったことを覚えている。以来、YOSAKOIに押され気味の御典大会の前身「何でもおみこしコンクール」や足羽三山への桜の植樹（足羽三山という言葉も市民の広場の中で私が使った言葉であるが、今や銘菓の名前となっている）、ハートランド事業等、多くの青年部の事業が市民の広場から生まれた。当初の頃はまだまだまちづくりフォーラムが珍しく、かなりの有識者を始め多くの市民が集まったが、最近ではフォーラムばかりで市民の広場は仲間内の事業になっていった。そのころJCから「コンセサスシンポジウム」と称する市民のコンセンサスを得るためのフォーラムを共同開催したいとのオファーがあった。なるほど新幹線や空港の実現、私鉄の存続問題、駅前の活性化等、建前では必要だと言っているが誰も直ぐに解決すると思っていないことが余りに多すぎる。その中で連続立休交差事業や駅周辺付近区画整理事業など半世紀に1回の大型事業が目白押しで、前提となるのが公開で議論されなければ何も進まない状況である。そんな訳でJCとYEG、経済同友会、商工会議所その他諸々の市民団体が協力し、

平成11年11月3日に第1回市民会議を開催することとなった。

1回目のテーマは福井市のまちづくりを大きく捉えることとなった。しかし性格も手法も違う2団体が行事を行うことはかなり困難であった。しかし両団体の古株同士の信頼関係や両委員長の粘り腰で大胆な問題提起が出来た。しかし、その道に詳しい人からは更にレベルの高い提案を期待され、特に中心市街地の問題は緊急であるとの提案が為され、第2回の市民会議が今年の7月1日に開催されることとなった。

緊急提言をするためにワーキンググループが結成され、何度も議論を重ねたが具体的な形にはなるとは意見がまとまらず、専門的になればなるほど一般受けしないものとなった。フォーラムは元来、広く参加者に情報を伝える問題を提起し、認識を深めて貰うものと、問題解決のために少人数で突っ込んだ議論をするものと2種類あり、目的も異なるように思う。より大勢でより内容の高いと言う課題は両立しないように思うのだが。

第3回は11月5日(日)に開催される。私は市民会議自体が「市民それぞれの個性を認め、生かしながら地域社会共通の問題については柔らかなベクトル合わせをし、それぞれの手法で対処する」という実験なのではないかと思う。市民会議が今後も続くのか、市民の広場に戻るのか、政策の策定とコンセンサスづくりをどう両立させるのか課題は多い。しかし、現スタッフには意欲も能力もあり心配はしていない。敢えて気がかりなことと言えば、執行部や会員の中から「勝手にやれば」との醒めた空

気が生まれることにある。やはり One for all, all for one の個性を生かした共同意識が青年部にも、福井の社会にも必要なのではないだろうか。

ネットコミュニティ委員会 永井 弘明

第3回 ふくい市民会議

まちづくりに関する市民の意見交換、情報提供、そしてコンセンサス形成の場として徐々に浸透してきたふくい市民会議。3回目が11月5日(日)に次のような内容で開催されます。

日時 平成12年11月5日(日)
午後1時30分～3時45分(第一部)
午後4時15分～5時30分(第二部)

場所 福井駅前 織協閣

テーマ 「まちはステージ『まちなか』をこう変える！」

内容 (第一部) 講演(宗田好史京都府立大学助教授)
「にぎわいを呼ぶイタリアのまちづくり」クロストーク、
テーブルフリートーク、パネルディスカッション
(第二部) ワインパーティー(会費制)
イタリアのまちづくり手法に学びながら、実際の市民の活動や計画を語っていただき、中心市街地の活性化につなげます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

福井YEG白書

ホームページ紹介

IT、URL、Web、— なんじゃこりゃ、というアルファベットの氾濫する今日、好むと好まざるとに関わらず、インターネット社会にますます拍車がかかって行くだろう。福井YEGの会員の中でも、ホームページを作っているところが増えてきた。

青年部会員にメールを送信し、アドレス掲載の希望の返信のあったところだけここに紹介する。

ぜひ一度、訪れて欲しい。そして我的最愛(お気に入り)に追加して、商品の注文はもちろんのこと、意見感想などを送信していただければ幸いです。

| 会員名 | 会社名 | ホームページアドレス |
|-------|------------|------------------------------------|
| 村中 洋祐 | (株)甘泉堂 | http://www.kansendo.com |
| 多田 和博 | (株)米五 | http://www.misoya.com/ |
| 木ノ下康一 | (株)むぎや蒲鉾 | http://www.petit.fcci.or.jp/mugiya |
| 清川 卓二 | 清川メッキ工業(株) | http://www.kiyokawa.co.jp |
| 吉岡 正修 | 吉岡幸(株) | http://www.yoshiokakoh.co.jp/ |
| 大鎌 利規 | 木原建設(株) | http://www.kihara-kensetsu.co.jp/ |
| 野村 英生 | (株)穴吹工務店 | http://www.anabuki.co.jp |
| 山田 真一 | 大須賀技建(株) | http://www.osugahome.co.jp |
| 林 洋三 | (有)昭和不動産 | http://www.sumikae.co.jp |
| 藤澤 克美 | (株)林不動産鑑定所 | http://www.mitene.or.jp/hys-real |
| 山岸 寛士 | マリージョゼ企画 | http://www.marie-jose.co.jp |
| 石村 史朗 | 福井放送(株) | http://www.fbc.ne.jp |

ホームページを作成した理由

※社員採用のため ※売上増につなげたい
※店の所在地を知ってもらいたい
※四季折々のお菓子をHPを通してアピールしたい…など

第18回近畿ブロック大会

宮津大会



9月8日(金)、早朝バスで福井を出た我々は、京都府「天橋立」で有名な観光地である宮津市へ向かった。私は仕事柄何度か訪れている土地だが入会して2年目の私にとって、近畿ブロック大会への参加と他YEGのメンバーとの交流は初めての体験という事もあり新鮮な気持ちでの訪問となった。

旅行会社で働く私にとって、この宮津周辺の観光コースの作成にはいつも手をやいている。「天橋立」の観光のみしか名所がないというイメージが離れず、せめて半日以上過ごせるような、街づくり(出石や長浜のような)をしたら違うと思うのになど素人考えをむきだしにしているものである。しかし我々を迎え入れてくれたのは「みやづ歴史の館」と名付けられたとても立派な建物であった。

「原点からの発信人の輪、智恵の輪、黒ちく輪」と大会のコンセプトをアピールしたテーマがつけられた大会がいよいよ開幕した。

開催日は金曜日であったが、大変多くの参加者が会場を埋めた。式典、記念講演、4会場に分かれての分科会と進んで行く。私が特に印象に残ったのは、PHIP総合研究所、副社長・江口氏の講演の中の一言、「目標でなく夢を持ってビジネスを」という言葉であった。松下幸之

助氏がそう言い残したそうだがこの様な経済の状況だからこそ、何となく頭に残った。夢がビジネスに繋がるのかという事に関しては、疑問を抱くが、夢が精神的な支えとなつてビジネスを展開するという事に関しては、自分には納得できた。

そうこうしているうちに時は過ぎ、懇親会となった。この懇親会は、よく演出されていた。地域の色がよく出ていた様に思う。宮津の名産が並び、次回の開催地(新宮)のPRなどがうまくなりこまれ、とても早く時間が過ぎていった。とてもいい時間を過ごさせて頂いた。

1泊2日訪れた宮津の地であったが私個人としては、新鮮で、他YEGメンバーの方とも交流ができた意義のあるものであった。あとは宮津の街づくりに更なる期待をして、できるだけ調整して来年の大会にも参加したいと思う。お疲れ様でした。



例会研修委員会 寺本 巧

六月例会 「市長と語る会」

今年の「市長と語る会」は、6月28日(水)に福井商工会議所地下国際ホールで行われました。今回は、「福井をもっと元気にする」というテーマで、市長の講演、青年部の事業報告を行い、そのあとは、立食形式のフリーディスカッションに移りました。フリーディスカッションでは、酒井市長をはじめ、市役所のご担当とも和やかな雰囲気での話にはなが咲きました。この日はもうひとつの目玉がありまして…。それは、皆様の健康を気遣い、健康食品料理がならびました。ゴウヤ(にがり)、野菜ジュース、などの非常に健康的な食事と飲み物の中、今年

の市長と語る会は終わりました。

七月例会 (三単会交流会)

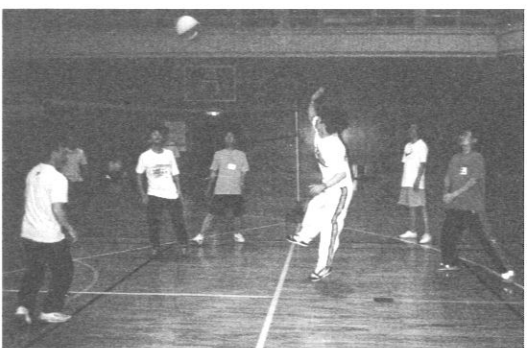
毎年恒例の三単会交流会が7月17日(月)、鯖江単会主幹のもと鯖江市神明健康スポーツセンターで開催されました。「スポーツを通して心から熱く汗をかき、三単会相互が楽しくコミュニケーションを深め、精神的・肉体的にリフレッシュしよう!」そうです、我が福井単会としてはこの夏最大級のイベント(気分的には恐竜エキスポに勝るとも劣らない)「ヨサコイいっちょらい」のウォーミングアップもかねて軽く汗を流してきました。えっ? 結果ですか? まあコマカイことは抜きにして、みんな楽しそうだったし。

あ、内容が抜けておりました。3チームが同時に行う

バレーボールです。1チーム6人、三等分した大きな円グラブにネットをつけて単会対抗でボールを追っかける。そんなかんじです。

2時間という限られた時間の中でいかに交流を深めるか、なかなか難しいですね。次年度は主幹が福井になります、皆様からの奇抜なアイデアお待ちしております。

例会研修委員会
野村 英生



八月例会 「法律セミナー」

8月例会は、「企業 家庭の法律ミニ知識」と題し、弁護士野坂佳生先生によるミニ法律セミナーを23日(水)に開催しました。最初に法律の基本的な部分をお話いただき「法律とは「権利と義務の世界」、債権(請求権)と物件(支配権)」と始まった時には、法律はやはり難解なものとも感じましたが、例示を交えての説明は解りやすかったのではないのでしょうか。

その後、事前に会員より募った質問を織り交ぜての講演では請求する権利の公的確認の必要性や弁護士報酬など多岐に及びましたが、やはり時間が足りなかつたようです。会員からの要望があれば、もつと的を絞ったセミ

ナー形式も今後は面白いのではと感じました。

日本人は弁護士を活用するケースが少ないということです。社会構造が複雑化していく今日、訴訟に限らず一般的な契約を一つとってもこれからは法律的なものが見方が求められるのではないのでしょうか。

なお、野坂先生より弁護士の報酬一覧表を寄贈していただきました。よろしければご活用下さい。

例会研修委員会
藤澤克美



「グルメキャンプ」 お父さん頑張る「イタリア」の風

今年8月26日(土)・27日(日)の両日、国民休暇村・越前三国にて「夏の合宿」を行いました。今回のテーマは「お父さん頑張る」 イタリアの風「で日頃の仕事の忙しさをひと時忘れ、また家族との夏の最後の思い出作りに、猛暑の中、皆さんにはとても頑張っていたいただきました。特に今年、グルメキャンプとしバーベキュー・カレー等の日頃使われやすいメニューを使わずに、夜はパエリアと冷製パスタ、朝は、冷たいお茶漬け、昼は、手打ちのそばを皆さん特にお父さんに作っていただきました。下準備はかなり大変でしたが、それにもまして皆さんが大変積極的に、取り組んでいただけただけでも助かりました。

二日目は、休暇村の中のプールにて子供達と水遊びを楽しんでいただきました。日頃のYEG会員の方々は違う、別の顔のマイホームパパぶりにとても心温まる思いがしました。

とにかく、暑い暑い二日間でした。皆さんお疲れ様でした。

総務委員会

水元 一徳



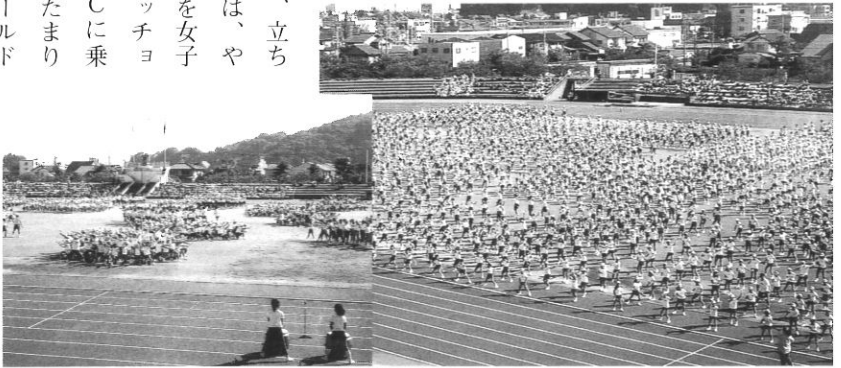
福井市小学校連合体育大会でも YOSAKOIイッチョライ

28日(木)に行われた福井市小学校連合体育大会で、「集団演技」として「YOSAKOIイッチョライ」が2700余名の小学6年生によって、群舞された。

酒井市長などの挨拶の後、体操服すがたで、両手には鳴子ならぬ石の入ったベットボトルを握りしめ、立ち上がった2700余名は、やはり壮観。二つの太鼓を女子児童が打ち鳴らし、イッチョライ99のリズムとMCに乗り、80人程の踊りのかたまりが32個ぐらいできフィールドいっぱい広がって、5分弱のYOSAKOIイッチョライの花を咲かせた。ギネスブックに申請したくなるほどのすばらしさであった。

YOSAKOIイッチョライの裾野が着実に広がっていることだけは間違いないだろう。

メディア委員会 慶松裕司



新入会員紹介



上松悦志

ネットコミュニティ委員会

O型 昭和49年4月15日生
勤務先…(株)ウエマツ

業種…繊維業

コメント…ネットコミュニティに所属しました。上松悦志です。まだまだ分からないことばかりですが、少しでも地域に関わっていききたいです。

紹介者…吉岡正修



木ノ下康一

例会研修委員会

B型 昭和44年3月26日生
勤務先…(株)むぎや蒲鉾

業種…製造業

コメント…はじめまして、気長に参加していききたいと考えております。

紹介者…吉岡正修

よろしくお祈りします



赤ちゃん誕生おめでとう

栃谷賢一郎さん



長男
政聡くん

平成12年9月6日

めざせ！ ジャニーズ。将来は、芸能界だ！

会員短信

美容室マリージョゼ
新店オープン



山岸寛士氏

拡大を続けるマリージョゼグループが、また新しい店を出した。駅前店は少し場所を移動して8月1日リニューアルオープン、パワーセンター・ワッセ内

に9月1日新規出店、SO/CO22内に7月22日エステ・ネイル

の店を開き、さらに事務所を有楽町の自社ビルに移転させた。これでマリージョゼグループは8店舗になった。

山岸寛士会員談「おかげさまでマリージョゼも全部で8店舗営業させていただいております。これ

まではファッショナブルな女性をターゲットにしましたが、メンズ

サロンヴォーグ店にも力を入れ、ヤングな男性のみならず、おやじ比率

を高めていきたい。増毛はムリです

会員短信

パソコン教室オープン
ピュアシステム(株)



吉野弘美氏

IT(情報技術)、EC(電子商取引)の文字を見ない日はないといっても過言ではありません。名刺をもらえば電子メールのアドレスが入っているのが当たり前

西木田通信

会議所に入って、又青年部の担当になって、早半年が過ぎようとしています。やっとな青年部の仕事もなれてきたかなと思いきや、何せ年間を通して行事が多いので、初めての事が次から次へとやってきて「はあはあ」と息を切らしている毎日です。しかし、青年部会員の皆様と親しくなれるのはうれし限りです。役員会の始まる間に資料を持ってきて困らせる方、恥ずかしい「ちゃん付け」で呼んでくださった方、分からないことを詳しく教えてください、等々いろんな会員がいっぱいいるが、まだ一度もお会いできていない方も少々。例会でお会いできる日を楽しみにしていますので、是非出席してください。

お詫び

前号94号の新入会員紹介、木村幸生会員の勤務先を陳木村敬商會→陳木村敬商店に訂正させていただきます。

事務局 阪井聖子